

人吉警察署
管内事件・事故発生状況
(令和8年4月末時点)

○刑法犯認知件数	55件
内訳)	
窃盗	34件
暴行・傷害	8件
その他	13件
○人身事故発生件数	17件



災害への備えは大丈夫ですか？

◎ 災害から「命」を守るために

近年、全国的に豪雨や台風、地震による大規模災害が相次いで発生しており、本県でも「令和7年8月豪雨」により、死傷者や住家被害が発生するなど、県民生活に大きな影響をもたらしました。

また、「平成28年熊本地震」や「令和2年7月豪雨」等のような大規模災害が発生すれば、生活への影響が長期化することが予想されます。

これまで災害による被害が少なかった地域でも、予想以上の降雨や地震等により災害が発生する可能性が考えられることから、常日頃から、食料、生活用品等の準備や避難要領を確認するなど、起こりうる災害に備えることが大切です。



○ 予防的避難の重要性

避難で重要なことは、「空振りをおそれないこと」です。

「このくらいなら大丈夫だろう」と過信することなく、最新の気象情報を参考に、危険が迫る前の明るい時間帯に予防的避難を心掛けましょう。

○ 垂直避難について

垂直避難とは、水害や土砂災害などの災害発生時、今いる建物や直近の建物の2階以上へ移動する避難方法のことです。

「別の場所へ避難すること」と「垂直避難すること」の災害リスクを比べ、より安全な方法を選択して、自身の安全を確保するようにしましょう。

○ 正しい防災情報の入手

災害から身を守るためには、最新かつ正確な防災情報を入手して、自分に降りかかるおそれのある危険を正しく認識するとともに、将来の危険を想定して、避難時期や避難場所等を適切に判断することが重要です。

インターネットは情報を入手するのに有効な手段ですが、偽・誤情報が含まれる可能性があることを認識し、安易に信じて行動せず、自治体のホームページ等で正確な情報を入手しましょう。また、安易に偽・誤情報を投稿・拡散しないようにしましょう。

◎ 大雨時における災害と対策

○ 予想される風水害

・河川の氾濫・洪水

下流域が小雨であっても、上流域で大雨が降っている場合には、下流域で急激に増水する可能性があります。

・冠水

アンダーパス（地下道等）での冠水では、入口付近では水深が浅くても、内部に進むにつれ、深くなっている場合があります。

・土砂崩れ・土石流

急傾斜地は、特に土砂崩れ等が発生する危険性が高く、また大規模盛り土造成地等も注意が必要となります。

○ 危険な行為

雨風が強いときに、

- ・田畑の様子を見に行く
- ・川の様子を見に行く
- ・屋根等の高所で作業をする

などの行為は大変危険です。絶対にやめましょう！！



令和8年5月29日から新たな防災気象情報が運用開始されます。

詳細は気象庁ホームページ（右のQRコード）からご確認ください。



◎ 災害に対する日頃の備えを

○ 「避難スイッチ」

危険判断の材料を一人ひとりがあらかじめもっておき、そのような場面に直面したら「避難スイッチ」を入れて避難するようにしましょう。

○ 地域の危険な場所や避難経路の確認

市町村が作成しているハザードマップやハザードマップポータルサイト等を活用して、自宅や住んでいる地域の危険な場所や避難経路を予め把握しておきましょう。

○ 備蓄食料等の準備～無駄にならない日常備蓄～

日頃利用している食料品や生活必需品を少し多めに購入しておく「日常備蓄」ならば比較的簡単で無駄にならない備蓄ができます。

○ 家族との連絡手段の確認

災害時に家族が離れ離れになった場合の安否の確認方法を決めておきましょう。